



真野中だより

<校訓> 立志力行 協力親和

真野中学校11月号 (491号)

令和4年11月30日発行

教育目標
3つの心

豊かな人間を目指し たくましく生きる生徒の育成
感謝する心 素直な心 努力する心

心を鍛える

校長 中川 久雄

木々もすっかり葉を落とし、景色は足早に冬の装いに変わっていきます。寒さを迎え心配されるのが、かぜやインフルエンザ、そして、新型コロナウイルスの罹患です。学校でも、できうる限りの予防や対策に努め2学期を乗り切りたいと思いますので、ご家庭でもご指導とご協力をお願いいたします。

さて、そんな寒さとは真逆の残暑厳しい8月の学校だよりで、「甲子園は目的ではなく、あくまで目標。3年間の目的は人間形成だ。」という、大井道夫さん（現：日本文理高校総監督）の言葉を紹介しました。大井さんは、技術や体力の向上、甲子園出場、そして全国制覇ということ以上に、部員一人一人の心を鍛えることに主眼を置いていたようです。そんな日本文理高校と同じく高校野球の強豪校大阪桐蔭高校でも、人間形成に力を入れていることがうかがえる記事を見つけたので紹介させていただきます。

思い出した場面があった。1月の末に近い頃、ある雑誌の取材で、大阪桐蔭のグラウンドにうかがった時のことだ。練習たけなわの時間に、主力選手の一人がグラウンドの外にいる。そこでバットやグラブを手にして特別な練習をしているわけでもなく、体力アップのためのトレーニングをしているわけでもなさそうだ。見える場所まで行ってみたら、彼がしていたのは『草むしり』だった。

正直、驚いた。“本番”（春の甲子園大会）まで2か月。主力選手なら10分でも15分でも余計に練習していたい、練習してほしい時期。しかも優勝候補筆頭・大阪桐蔭の主力である。何が理由なのかは聞かなかったが、この時期に草むしりなら、それ相応のことなのだろう。見ないふりしてチラチラ見ていると、彼は雑草の生えた場所を、端からきちんとむしっているようだ。そして、その雑草を手押し車に集めると、決まった場所まで運び、そこにきちんと積んでいく。ペナルティーを課せられた“嫌気”や投げやり感がない。むしろ、指示されたことに向き合っ、ひたむきにこなしている。丁寧な仕事をしていた。

室内練習場に行く時に、脇を通って声をかけてみた。「たいへんだなあ・・・、こんなにやるんだ」。ちょっと恥ずかしそうにしながら帽子をとったその頭が“五厘”だった。「はい、でも、今、自分がやるべきことは“これ”なんで」。よくある被害者意識のような、卑屈な物言いじゃなかった。声の調子は控えめだったが、どこか前向きな響きがあって、こちらのほうが救われた。「そうか・・・、頑張ってるって言うのも変だけど、でも頑張ってるな」。

歩き出そうとした背中に、何か聞こえたような気がして、えっ？と振り返った。「自分たちはいつも、今、何をすべきかを考えながらやってきたんで。自分は今、グラウンド外ですけど、やっぱり自分が何をしなきゃいけないかを考えてるんで」。彼は、人のせいにしていない。今度のことを、自分がさらに強く、大きく

なるための礎にしようとしていた。

きっと彼らは、「甲子園で勝つために」とか、そんなみみっちいことを目標にしていないのだろう。もし、その次元の意識だったら「こんな時期に草むしりなんて・・・、甲子園で活躍できなかつたら、監督のせいだ、部長のせいだ」と、大人のせいにしていただろう。大阪桐蔭の彼らの目指すところは、きつともっと先の、もっと大きなものなのだろう。一人の人間として強く大きくなるために、高校野球に取り組む今、自分たちはどうあるべきなのか。そこまでの次元で、高校野球に取り組んでいるのではないか。大阪桐蔭の“人間力”に脱帽だった。史上3校目の『センバツ連覇』。大阪桐蔭の偉業に、心より敬意を表したい。

この記事は2018年の春に書かれた記事ですが、その後も、甲子園での試合において、相手チームの選手にコールドプレーや水分補給のための飲み物を素早く持っていくなど、相手を思いやる場面がたびたび見られます。

我々真野中学校の教職員も、これらの事例を見習い、様々な教育活動を通して、伝統的に力を入れている三つの心（感謝する心・素直な心・努力する心）を核に生徒の心を鍛えてまいります。

保護者、地域の皆様におかれましても、何かの機会に、または意図的に、人生や社会人の先輩として、心の教育にご支援・ご協力をお願いいたします。



11月の教育活動

2年生総合学習

2年生は、現在、10月に学習した職場体験のまとめ作業を行っています。それぞれが体験した内容を自分のタブレットを用いてまとめながら、発表用のスライドを作成しています。今回の作業では、主にミッションの解決策を考えるために事業所の情報を共有するを行いました。また、スライドで使う写真などを選別したり、発表で説明する文章を班員と協力しながら考えたりしました。新型コロナウイルスの影響で制限のある中で体験学習でしたが、各班が知恵を出し合いながら協力して作業をする姿が多く見られました。また、11月10日(木)には宮崎県教育委員会による課題解決型職場体験学習の視察もあり、真野中学校2年生が意欲的に学習に取り組む様子をご覧いただきました。



真野中コミュニティー・スクール

11月18日(金)に第2回学校運営協議会が開催されました。第2回学校運営協議会では、1, 2学期の真野中学校の教育活動や地域と学校が協働して活動する地域学校協働本部の取組について振り返りながら話し合いました。真野中学校コミュニティー・スクール「真野っ子プロジェクト」～真野の文化・伝統を学び、受け継ぐ～をテーマに、地域・学校で目指す真野の子どもたちの姿や育てたい力、そのために保護者、地域、学校が取り組むべきことについて話し合われました。活発な話し合いにより次のような意見が出されましたので紹介いたします。

【学校運営協議会委員の皆様】

会長	山本 博明 様	元市教委 教育指導主事
副会長	吉田 久人 様	真野地区公民館長
	鶴間 克己 様	真野行政サービスセンター長
	須藤 信宏 様	社会福祉協議会福祉課長
	金子 好孝 様	民生児童委員協議会副会長
	永井 弘志 様	主任児童委員
	白髭 浩昭 様	真野中学校同窓会長
	藤井 衛 様	真野小学校長
	薄木 昭子 様	真野中PTA顧問(前PTA会長)
	計良 美佳 様	真野中PTA会長
	伊澤美恵子 様	地域コーディネーター
	金子 直美 様	CSディレクター
	中川 久雄 様	真野中学校長

【地域・学校の課題、目指す子どもの姿】

- ・地域の少子高齢化対策 ・地域の活性化に向けた取組 ・何事にも意欲的にチャレンジする子どもたちの主体性を育てたい ・佐渡(真野)への愛着・誇りを学び、身に付けて欲しい。
- ・いずれは佐渡(真野)に帰ってきて欲しい。
- ・地域の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる人材に育てて欲しい。 など

【今後重点において取り組んでいきたい地域と学校の活動は？】

- ・地域と関わることができる運動会 ・防災学習の充実 ・地域の横のつながりによる活動
- ・地域からの協力による一品バザー ・芸能祭への参加 ・伝統文化の後継者育成
- ・一人暮らしの高齢者宅訪問 ・部活動の地域移行 ・子どもたちの社会性を育てる活動
- ・子どもたちが生き生きと過ごせる学校づくりの手助け など

学校運営協議会の委員の方々と真野の子どもたちに育てたい力、そのための今後の取組、今後の課題などについて話し合いました。今後も保護者・地域・学校が協働し、地域総がかりで子どもたちを育てていくために、地域に開かれた学校づくり「チーム学校」を目指していきます。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。また、11/28(月)に保護者アンケートを配付させていただきました。ご意見の程よろしくお願いいたします。

【今年度の地域と関わる教育活動（地域学校協働活動推進事業）の様子】



【毎月のあいさつ運動】



【毎月のあいさつ運動】



【クリーン作戦・海岸清掃(6月)】



【総合郷土6月～10月：茶道】



【総合郷土：八反灯籠づくり】



【総合郷土：文弥人形】



【防災学習10月】



【防災学習：避難所設営】

【今後の予定】

- ・支援サービス (高齢者の方々へのメッセージ)
- ・真野地区芸能祭

11月の表彰

- ◎ 第68回青少年読書感想文コンクール 最優秀賞 (全国審査会へ出品)
課題読書 題名 「偏見だらけの世界の中で」 3年 高橋 世風
- ◎ 新大全国読書大会 準特選 2年 金子 智恵美
秀作 2年 相良 笑花
- ◎ 新潟県読書大会 準特選 2年 金子 智恵美
準特選 2年 相良 笑花



新潟県駅伝大会の結果

11月2日(水)に新潟県中学校駅伝大会が、小千谷市白山運動公園特設コースで行われました。当日は天候にも恵まれ、これまで積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮することができました。当日出場した選手はもちろん、共に夏休み前から走り続けてきた仲間の思いを一本の襷に乗せた素晴らしい走りことができました。真野中学校駅伝部の皆さん、お疲れ様でした。また、次のステップに向けてさらに躍進して欲しいと思います。



男子チーム	第14位					
区間	1区	高野 佑輔	6位	2区	本間琳太郎	25位
	3区	村川 龍	15位	4区	後藤 晴瑠	12位
	5区	柴原 煌	4位	6区	水澤 昊優	29位
女子チーム	第28位					
区間	1区	中川 優愛	12位	2区	赤塚 結月	40位
	3区	川原 莉音	25位	4区	高橋 世風	34位
	5区	伊藤 椿	29位			



【12月の予定】



12月の予定		1月の予定	
1日(木)	技術期末テスト 柔道授業(1,2年)	1日(日)	元日
2日(金)	柔道授業(3,1年)	2日(月)	年始休業
3日(土)		3日(火)	年始休業
4日(日)		8日(日)	バレーボール1年生大会
5日(月)	生徒会選挙立会演説会・投開票	9日(月)	祝日(成人の日)
6日(火)	期末保護者会①	10日(火)	始業式
7日(水)	期末保護者会②	11日(水)	専門委員会
8日(木)		12日(木)	小読み聞かせ
9日(金)	よりよい仲間づくり集会	13日(金)	英語検定
10日(土)		14日(土)	卓球県新人大会
11日(日)		16日(月)	諸校費引落日
12日(月)	冬休み指導	19日(木)	新入生学校説明会
13日(火)		20日(金)	漢字検定
14日(水)		23日(月)	生徒総会学級審議
15日(木)	諸校費引落日	25日(水)	3年生三者面談①
16日(金)	2年生職場体験発表会(1,2年生参加)	26日(木)	3年生三者面談② NRT3教科
17日(土)		27日(金)	NRT2教科 専門委員会
18日(日)		28日(土)	数学検定
19日(月)	専門委員会	2月の予定	
20日(火)		2日(木)	3年期末テスト①
21日(水)	生徒会レク(クリスマス集会・球技大会)	3日(金)	3年期末テスト②
22日(木)		7日(火)	第2回生徒総会
23日(金)	終業式	11日(土)	建国記念の日
24日(土)		13日(月)	1,2年期末テスト①
25日(日)		14日(火)	1,2年期末テスト②
26日(月)		17日(金)	第2回PTA総会 公立一般出願
27日(火)		22日(水)	三送会
28日(水)		23日(木)	天皇誕生日
29日(木)	年末・年始休業(1/3まで)	27日(月)	専門委員会 志願変更(~3/1)
30日(金)			
31日(土)			
部活動 17:00 終了 17:10 完全退校			